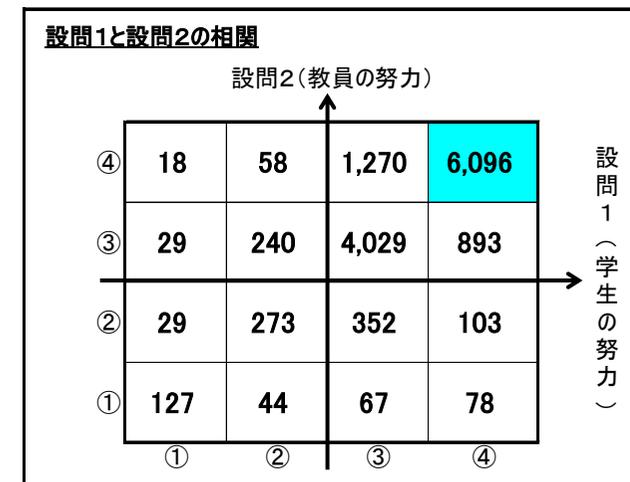
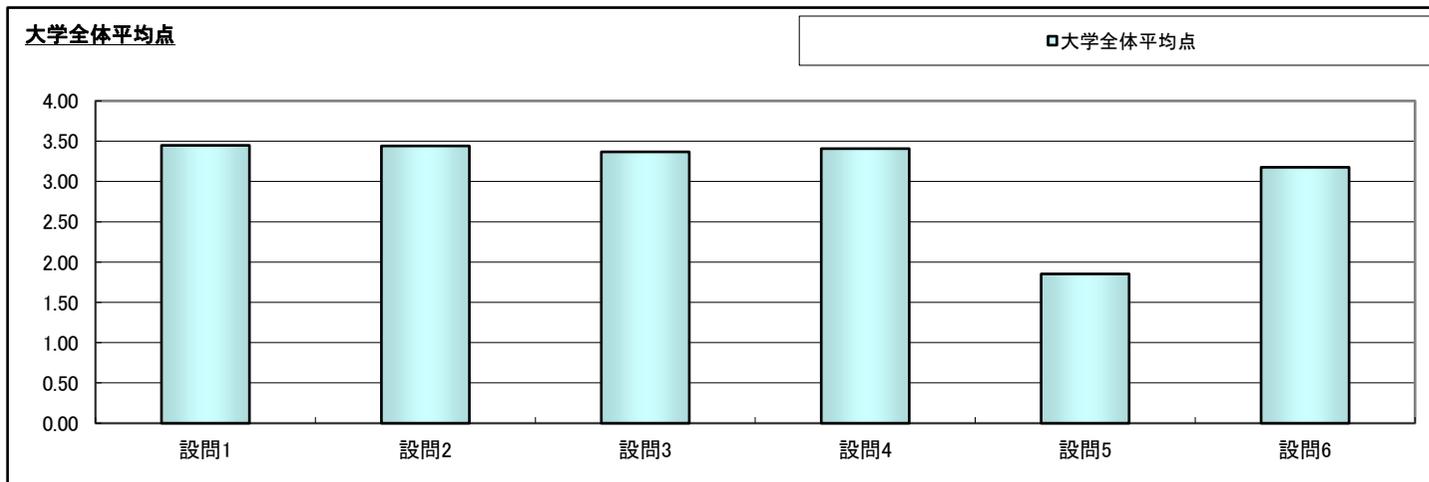


集計	大学
----	----

履修人数	17,666
回答者数	13,706

設問	設問文	平均点	回答数(人)／回答率(%)				無効回答	有効回答
			④	③	②	①		
1	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.45	7,170	5,718	615	203	0	13,706
			52.3	41.7	4.5	1.5		
2	学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.44	7,442	5,191	757	316	0	13,706
			54.3	37.9	5.5	2.3		
3	この授業は内容がよく理解できるように工夫・配慮されたものでしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.37	6,863	5,422	1,023	398	0	13,706
			50.1	39.6	7.5	2.9		
4	教室内の学修環境(私語に対する注意や安全面への配慮)は適切に保たれていましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.41	7,083	5,445	863	315	0	13,706
			51.7	39.7	6.3	2.3		
5	授業時間以外で、この科目の授業1回当たりの平均的な学修時間はどの程度でしたか。(学修時間には、予習・復習・課題のほか、レポート課題作成、プレゼンテーションの発表準備、休み時間に関連事項のディスカッションをした、通学時間に関連事項を検索したなど全て含みます。) ④4時間以上 ③2～4時間未満 ②30分～2時間未満 ①30分未満	1.85	891	1,751	5,517	5,547	0	13,706
			6.5	12.8	40.3	40.5		
6	あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標を達成できましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.18	4,790	7,167	1,125	624	0	13,706
			34.9	52.3	8.2	4.6		



区分	大学
----	----

改善計画等

まず回答率が77.6%でしかなく、新しいシステムになって大きく減少している。紙にマークをしていたこれまでのように、授業中に一斉に回答する時間を取るよう改善すべきであろう。しかし、回答者の中では第1象限は89.7%と非常に高く、授業は教員・学生ともに概ね理想的な環境で実施されていることが分かる。最も問題とされる第4象限には4.4%、教員の努力不足を指摘する第3及び第4象限の合計は7.8%となっている。逆に学生の努力不足を自分で指摘している割合は、第2、第3象限の合計で6.0%となっている。これらの数字をどう読むかは、例えば、各学年の退学率を2%以下（4年間で8%以下）に抑えるという視点からは、教員側の問題として第3・4象限がその候補者と仮定すれば（これには経済的要素や人間関係などが入っていないため無理な仮定であるが）一応枠内には納まっていると言える。また学生側の問題として第2・3象限をその候補者と仮定した場合でも、枠内に納まっていることが分かる。

回答しなかった学生が、調査を行った授業時に欠席していた可能性もある。もしそうなら、こうした学生は他の学生より授業に対する熱意が低いことも考えられ、ここで求めた数値への影響を注視する必要がある。この意味でも回答率を上げる努力が必要である。

設問5は例年通り低い値になっている。30分未満（全くしなかった場合を含んでいる）が40%もいることは、学ぶ姿勢という点からも大きな問題であろう。しかし、これは学生がどういった活動が授業時間外学修と見ているかとも大きく関わっており、学生教員間での共通認識を創り上げていく必要がある。例年同じ傾向にあるため、喫緊の課題として捉えるべきである。

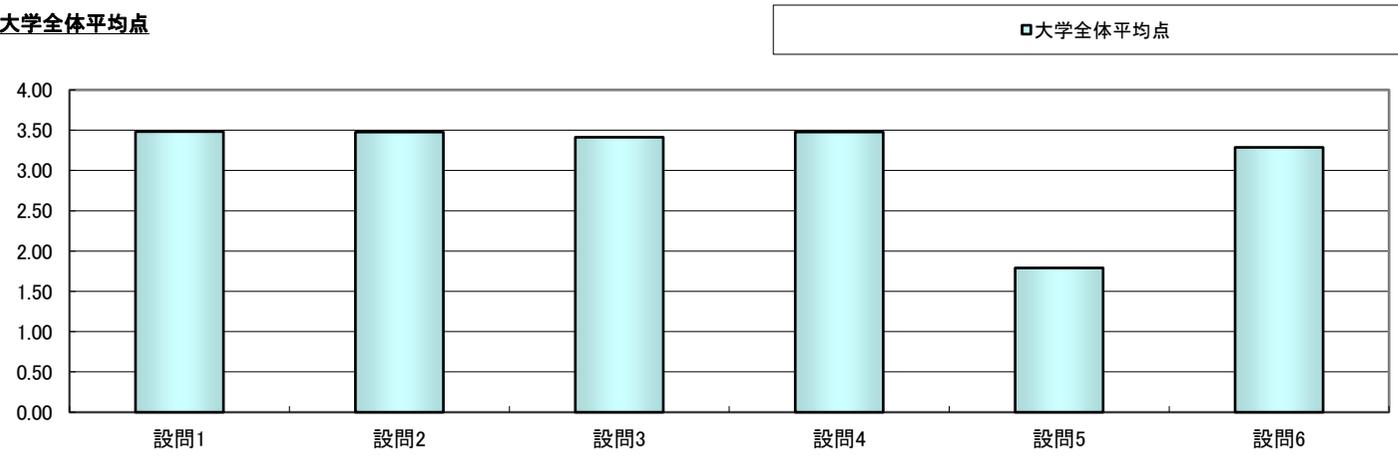
また新しく設定した設問6であるが、設問1～設問4に比べ若干低めに出ていることが多少気になるが、平均点が3を超えているため、そう深刻な問題と考えなくても良いのではないかと。しかし教員側としては最初の授業などで、当該授業の達成目標などを確かめておく必要があるのではないかと。

集計	大学
----	----

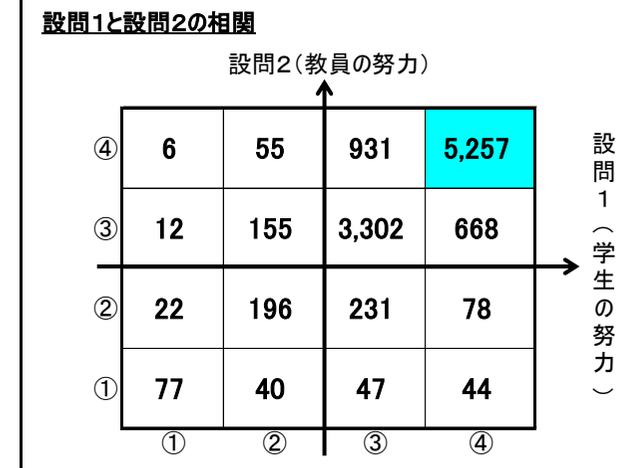
履修人数	15,867
回答者数	11,121

設問	設問文	平均点	回答数(人)／回答率(%)				無効回答	有効回答
			④	③	②	①		
1	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.48	6,047	4,511	446	117	0	11,121
			54.4	40.6	4.0	1.1		
2	学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.48	6,249	4,137	527	208	0	11,121
			56.2	37.2	4.7	1.9		
3	この授業は内容がよく理解できるように工夫・配慮されたものでしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.41	5,829	4,317	709	266	0	11,121
			52.4	38.8	6.4	2.4		
4	教室内の学修環境(私語に対する注意や安全面への配慮)は適切に保たれていましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.48	6,234	4,171	513	203	0	11,121
			56.1	37.5	4.6	1.8		
5	授業時間以外で、この科目の授業1回当たりの平均的な学修時間はどの程度でしたか。(学修時間には、予習・復習・課題のほか、レポート課題作成、プレゼンテーションの発表準備、休み時間に関連事項のディスカッションをした、通学時間に関連事項を検索したなど全て含みます。) ④4時間以上 ③2～4時間未満 ②30分～2時間未満 ①30分未満	1.79	642	1,209	4,450	4,820	0	11,121
			5.8	10.9	40.0	43.3		
6	あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標を達成できましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.29	4,459	5,663	730	269	0	11,121
			40.1	50.9	6.6	2.4		

大学全体平均点



設問1と設問2の相関



区分	大学
----	----

改善計画等

〔大局的には満足できる結果〕 アンケートの回収率は約70%であった。第1象限91.34%、第2象限2.05%、第3象限3.01%、第4象限3.60%である。未回答の学生の動向は分からないが、回答者よりは消極性があると仮定しても、第1象限の割合の高さを見る限り、全体的には教員の情熱と学生の意欲が噛み合った授業ができていると評価できる。第1象限の割合と問6の学修目標の達成に関する③④への回答割合がほぼ一致するのも偶然ではないかもしれない。

〔第3, 4象限の課題〕 また悪い評価の典型的な第4象限に、400もの回答があった。学生のやる気に応え切れていないと思われる授業があり、400もの回答が見られる事には注意を要する。教員の努力不足を指摘する回答は735(6.61%)であることにも、同時に注目しておく必要がある。

〔第2, 3象限の課題〕 学生側の努力不足を自覚している回答は563(5.06%)であったが、この点については、教員サイドに問題点があるとなれば、学生の興味を引き付ける授業になっていたかどうかの点検であろう。もちろん文字通り、学生側の責任に帰すべきケースも多々有ることは間違いのないであろう。

〔授業時間外学修時間について〕 例年問題になる設問5についてである。教員側では授業外に学修するための工夫をしても学生がそれに応えない(レポートを未提出とか、コピペで時間を掛けていないとか)場合もある。また、教員側が意識的にそうした取組を行っていない場合もあるであろう。さらには学生の認識と教員のそれとがずれていて、教員から見れば授業外学修であるのに学生がそうとは思っていないなどもある。この点では、この質問項目で点数の高い教員を中心にして、どうすれば時間を増やせるのかをテーマにFD研修会を持つことも必要かも知れない。

〔アンケート回収率について〕 未提出30%は、そもそも出席率が悪く、アンケート時に授業を欠席していた可能性もある。しかし、授業時間中にマークシート方式により紙ベースで行っていた以前に比べ、回収率は落ちているので、回収の仕方に問題があるのかもしれない。回収方法の工夫・改善についても検討が必要であろう。